



Institute of Labor Education & Culture

# 通信 No.45

2016年10月20日

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：専務理事 木村裕士

## 2016年度後期「連合寄付講座」を2大学で開講 ～法政大学と埼玉大学で～

2016年9月20日(火)より、法政大学キャリアデザイン学部において、連合寄付講座を開講しました。法政大学では、2013年より講座を開講しており、今年で4年目の開講となります。

第1回の講義では、担当教員の武石恵美子法政大学キャリアデザイン学部教授と上西充子同教授より、「労働組合とは何か、なぜ必要なのか」をテーマにオリエンテーションを行い、今後の講義でゲストスピーカーの方々からお話いただく内容について紹介がありました。第2回では、当協会の南雲理事長より、本講座を通じて学生の皆さんに学んでいただきたいことを伝えるとともに、自らの経験などを交えた講義を行いました。10月の第1週よりケーススタディに入り、各テーマに沿った課題と取り組みについて、ゲストスピーカーの講義が展開されます。



▲法政大学での寄付講座の様子

また、2016年11月28日(月)からは、埼玉大学経済学部においても連合寄付講座を開講します。埼玉大学では、2007年より講座を開講しており、今年で10年目を迎えます。また、今年から4学期制に変更され、第4タームの約2カ月間(2017年1月まで)で実施することとなりました。

これまでの経験を踏まえたプログラム作成、運営の充実に努め、より多くの学生に働くことや労働組合の役割について学んでいただきたいと考えています。

連合寄付講座は、連合、連合構成組織、地方連合会のご協力なしには企画・運営できないものです。関係各位のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも引き続きのご支援をお願いいたします。

なお、連合寄付講座は聴講ができます。講義の聴講を希望される方は、ILECホームページよりお申し込み下さい。また、過去の講義録についてもILECホームページでご覧いただけます。

### 2016年度法政大学 秋学期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

| 回  | 日程    | 講義テーマ   | ゲストスピーカー                           |
|----|-------|---|------------------------------------|
| 1  | 9/20  | 【オリエンテーション】講義：労働組合とは何か  | 法政大学教員                             |
| 2  | 9/27  | 【開講の辞】連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと<br>【課題提起①】「働くということ」をどう捉えるか ～労働組合がめざす社会像とは～ | 南雲弘行 教育文化協会理事長                     |
| 3  | 10/4  | 【課題提起②】いま働く現場で何が起きているのか<br>～労働相談からみた若者雇用の現状～                              | 石田輝正 連合非正規労働センター局長                 |
| 4  | 10/11 | 【ケーススタディ①】非正規労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み   | 宮島佳子 UA-ゼンセン流通部門執行委員               |
| 5  | 10/18 | 【ケーススタディ②】雇用と生活を守る取り組み  | 川野英樹 JAM 副書記長                      |
| 6  | 10/25 | 【ケーススタディ③】ワークルール確立に向けた取り組み（労働時間問題を中心に）                                    | 松本智志 NTT労働組合企画組織部中央執行委員            |
| 7  | 11/1  | 【ケーススタディ④】公正・公平な処遇とキャリア形成に向けた取り組み   | 半沢美幸 日立製作所労働組合書記長                  |
| 8  | 11/8  | 【ケーススタディ⑤】男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み  | 中山 隆 大同生命内務従業員組合中央執行委員             |
| 9  | 11/15 | 【ケーススタディ⑥】労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み（2016春闘を中心に）                                 | 吉清和博 自動車総連労働条件局長                   |
| 10 | 11/22 | 【ケーススタディ⑦】公務労働の現状と公共サービスの役割   | 佐保昌一 自治労社会福祉局長                     |
| 11 | 11/29 | 【課題への対応①】労働者保護ルールの堅持・強化にむけて   | 村上陽子 連合総合労働局長                      |
| 12 | 12/6  | 【課題への対応②】国際労働運動の役割  | 西原浩一郎 連帯社会研究交流センター<br>運営委員長（JCM顧問） |
| 13 | 12/13 | 【課題への対応③】ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けて  | 井上久美枝 連合総合男女平等局長                   |
| 14 | 12/20 | 【論点整理】「働くということ」と労働組合  | 法政大学教員                             |
| 15 | 1/10  | 【修了講義】「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて  | 神津里季生 連合会長                         |

\*講義時間は、火曜日15：05～16：35

## 2016年度埼玉大学 第4ターム「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

| 回  | 日程    | 講義テーマ   | ゲストスピーカー                                      |
|----|-------|---|---|
| 1  | 11/28 | 【開講の辞】連合寄付講座において埼玉大生に学んで欲しいこと<br>労働者を取り巻く現状と課題を知る ―労働組合が果たすべき役割とは | 南雲弘行 教育文化協会理事長                                |
| 2  |       | 「働くということ」をどうとらえるか   | 高木郁朗 日本女子大学名誉教授                               |
| 3  | 12/5  | 仕事と生活の両立をはかる  | 高橋桂子 生保労連中央副執行委員長                             |
| 4  |       | 非正規労働者の処遇改善をすすめる  | 徳永志寿嘉 ライフ労働組合副執行委員長                           |
| 5  | 12/12 | 職場で雇用と生活を守る   | 川野英樹 JAM副書記長                                  |
| 6  |       | 労働時間を短縮する   | 片山康夫 ヤマト運輸労働組合中央書記長                           |
| 7  |       | 労働組合をつくる  | 今野 衛 連合東京組織局次長                                |
| 8  | 12/19 | 【特別講義】日本プロ野球選手会の活動について（仮題）  | 森忠仁 日本プロ野球選手会事務局長<br>【コーディネーター】山根木晴久 連合総合組織局長 |
| 9  | 1/16  | 公務労働の現状と良質な公共サービスをめざす ―公務関係労組の取り組み                                | 田中浩二 自治労総合企画総務局長                              |
| 10 |       | 地域で雇用と生活を守る   | 佐藤道明 連合埼玉事務局長                                 |
| 11 | 1/23  | 公正なワークルールの確立をめざして ―労働者保護ルールの堅持に向けた取り組み                            | 安永貴夫 連合副事務局長                                  |
| 12 |       | 2017春季生活闘争 ―すべての働く者の生活向上をめざして                                     | 須田 孝 連合総合労働局長                                 |
| 13 | 1/30  | 【修了講義】「働くということと労働組合」  | 逢見直人 連合事務局長                                   |
| 14 |       | 教員によるまとめ  | 金井郁 埼玉大学准教授                                   |

※講義時間は、月曜日14：40～16：10・16：20～17：50

### 地方連合会 寄付講座

## 今秋、大阪市立大学・広島修道大学で 新規開講

地方連合会においても連合寄付講座の新規開講が相次いでいます。

今秋は、大阪市立大学・広島修道大学で新たに開講し、労働運動の第一線で活躍する連合役員が、各県の労働事情を踏まえた講義を行う予定です。また、引き続き、山形大学(連合山形主催)、首都大学東京(連合東京主催)、佐賀大学(連合佐賀主催)でも開講しています。

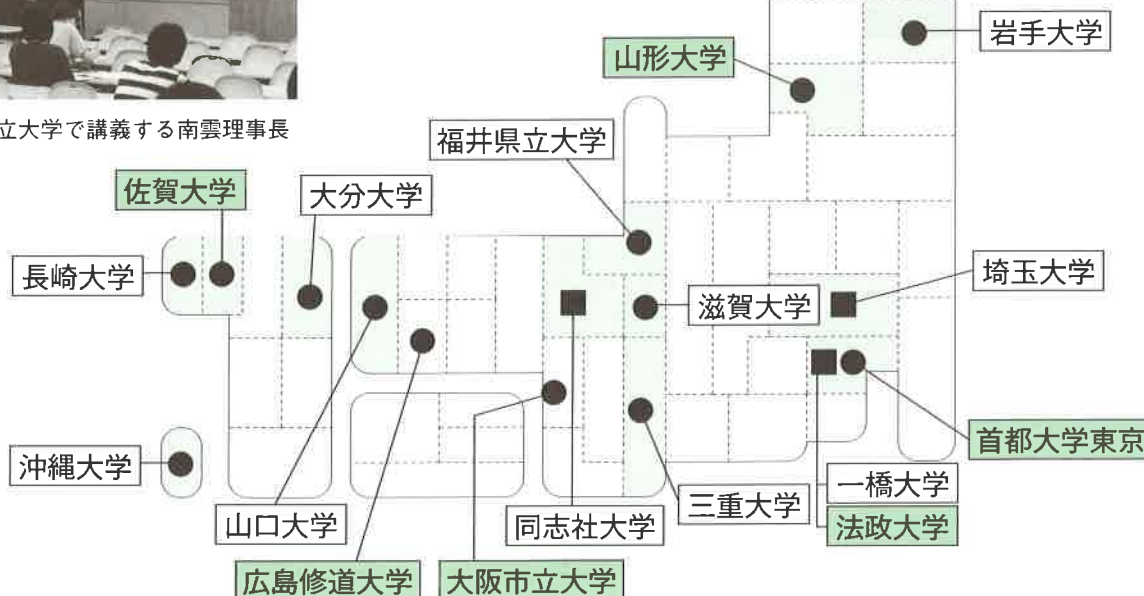
大阪市立大学・広島修道大学が開講したことで、地方連合会による連合寄付講座は計13大学となりました。

引き続き、地元開設を検討している地方連合会から続々と問い合わせをいただいています。ILECではさらに全国に広がるよう支援協力していきたいと考えています。



▲大阪市立大学で講義する南雲理事長

※アミ掛のある大学は後期開講中  
※■は教育文化協会主催の連合寄付講座



# Rengoアカデミー第15回マスターコース修了式を開催

— 受講生21名全員が修了 —

2015年11月に開講したRengoアカデミー第15回マスターコース修了式が9月29日(木)に連合会館で開催され、受講生21名全員が修了しました。

南雲弘行理事長による主催者挨拶の後、神津里季生Rengoアカデミー校長より修了生一人ひとりに修了証が手渡され、最後に中村教務委員長より今回の講評が行われました。

その後の懇談会では、ゼミナールの先生方や修了生の出身組織代表者の皆様から激励のメッセージをいただくとともに、修了生一人ひとりから今後の決意表明がなされました。会場は、修了生に対する祝福と今後への期待を込めた温かい拍手に包まれました。

修了生の皆様のさらなるご活躍を祈念するとともに、受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝申し上げます。

修了論文集はすでに会員組織に配布しておりますが、ホームページにも論文概要を掲載しておりますのでぜひともご覧ください。なお、第16回マスターコースが11月20日(日)より開講いたします。各組織におかれましては、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



## 【第15回修了生および修了論文のテーマ】

(敬称略)

| ゼミ | 修了生            | 修了論文のテーマ  |
|----|----------------|---|
| 禹  | 岩井 純 (電機連合)    | エンジニア主体の組合の可能性<br>— 組合活性化のためにできること —                        |
|    | 緒方 甫哉 (労金協会)   | 「ろうきん」知の輸出<br>— グローバリゼーション下におけるノウハウと資金の柔軟な活用 —              |
|    | 田中 明子 (日教組)    | ともに働くために<br>— 「見えない障がい」の理解をめざして —                           |
|    | 林 秀彦 (JAM)     | 次世代組合リーダーの育て方<br>— 「効果的なOJTの実現方法」 —                         |
| 木本 | 石塚 弘子 (電力総連)   | 女性組合役員の育成と定着に向けて  |
|    | 市村 和人 (運輸労連)   | 組合員の組合離れの現状と組合活動の活性化に向けて                                    |
|    | 長南 博隆 (情報労連)   | 若年層社員は、なぜ離職するか<br>— アンケート調査データの分析を中心に —                     |
|    | 半場 一美 (全労済)    | 職場の労働時間短縮問題を考える<br>— だれもが働きやすい職場づくりに向け —                    |
| 毛塚 | 青木 卓都 (労済労連)   | なぜ女性管理職は増えないのか？<br>— 女性管理職の増加が日本の長時間労働を変える —                |
|    | 今井 歩 (情報労連)    | 組合員のニーズに応えることが本当に労働組合の役割なのか？                                |
|    | 土屋 貴裕 (自動車総連)  | 自動車産業における派遣労働者に対する労働組合の果たすべき役割                              |
|    | 湯浅 祐樹 (連合東京)   | 日本におけるクラウドソーシングの発展と労働組合の課題<br>— クラウドソーシングワーカーの労働者性と組織化の課題 — |
| 高木 | 岩城みのり (連合本部)   | 連合「労働相談」の現状と課題<br>— 労働組合の存在感を高めるために —                       |
|    | 大園 敦 (電機連合)    | 人材ビジネス労組のあり方とは<br>— アルプス技研労働組合の労働運動の取り組みから —                |
|    | 熊野 明子 (自動車総連)  | 組合員の政治参画意識向上に向けて<br>— これまでの活動と組合員の政治に対する意識を踏まえ —            |
|    | 坂本 義樹 (連合静岡)   | 静岡県における最低賃金の沿革と役割<br>— 格差是正につながる最低賃金をめざして —                 |
|    | 鈴木 伸司 (UAゼンセン) | 米国の社会運動ユニオニズム<br>— 産別組織として得られる教訓の検討と提言 —                    |
| 橋元 | 飯島 良仁 (運輸労連)   | 労働組合の存在意義を高める<br>— 組合役員の存在感を高めていく取り組み —                     |
|    | 狩谷 祐一 (電力総連)   | 組合活動を支える財政の健全化に向けて  |
|    | 林 鉄平 (自治労)     | 自治体における臨時・非常勤等職員の賃金改善に向けて<br>— 職務給原則の壁は越えられるか —             |
|    | 布野 史雪 (JP労組)   | 労働組合の後継者育成のすすめ  |



## 第13回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」 ～入賞提言が決まりました～

第13回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」運営委員会(委員長・南雲弘行教育文化協会理事長)は、9月9日(金)に第2回運営委員会を開催し、応募提言の審査を行いました。当事業は、教育文化協会と連合が共催で取り組んでいるもので、13回目を迎えた今回も「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけた提言を募集し、過去最多の55編が寄せられました。また、今回「学生特別賞」を新設したこともあり、大学生・大学院生からの応募が13編を占めました。

審査の結果、「優秀賞」1編、「佳作賞」2編、「奨励賞」2編、「学生特別賞」1編を選出しました。「優秀賞」の山口隆寿さんの提言は、精神障がい者の就労環境の整備や当事者が安心して自立できる社会に向けて、自らの経験に基づき、①当事者、②雇用者、③支援者、④行政それぞれに求められる対応策を具体的に提起したものでした。山口さんには、10月14日の連合第73回中央委員会で表彰を行うとともに、提言の要旨を発表していただきました。

教育文化協会では、入賞提言6編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布しております。あわせてホームページにも掲載しておりますので是非ともご覧ください。

### <入賞一覧>

(敬称略)

| 賞     | 氏名    | 所属  | 提言名   |
|-------|-------|---|---|
| 優秀賞   | 山口 隆寿 | 情報労連 NTT労働組合<br>持株グループ本部持株総分会<br>NTTクラリティ部会 組合員 | 精神・発達障がい者の就労を通じて、働くことを軸とする安心社会の考察                                     |
| 佳作賞   | 木本 昌士 | UAゼンセン ダスキン労働組合<br>中央執行書記長                      | 非正規雇用労働を巡る諸課題に関する一考察<br>～均等・均衡処遇の実現を目指して～                             |
|       | 田村美都子 | 自治労 総合企画総務局<br>報道部長                             | 連合は最低賃金の引き上げを通じて存在感を高めよ   |
| 奨励賞   | 杉浦 詔子 | 情報労連 NTT労働組合<br>データ本部金融第二分会<br>副分会長             | 現代生活で避けられない『お金』とのかかわりと、身に付けておきたい金融知識<br>～金融知識を広める活動が私のライフワーク～         |
|       | 横田 渉  | 東京都市大学<br>工学部都市工学科 3年                           | キャリア教育の一環として第三者主体による新たな教育の在り方に対する提言<br>～働くことを軸とする安心社会の実現に向けた教育的アプローチ～ |
| 学生特別賞 | 中島 寛享 | 東京工業大学大学院<br>イノベーションマネジメント研究科<br>技術経営専攻 2年      | 就職ミスマッチ改善に向けた周職制度導入と集職プラットフォーム形成の提案                                   |

### 連合新書19『〈増補改訂版〉共助と連帯 －労働者自主福祉の意義と課題』を刊行

教育文化協会は、2016年6月に明石書店より、連合新書19『〈増補改訂版〉共助と連帯－労働者自主福祉の意義と課題』を刊行しました。

本書は、日々進化している労働者自主福祉の現場における活動のありようを盛り込んだ、労働者自主福祉の基本的な考え方と基礎的情報を整理した横断的なテキストとして、初版から6年ぶりに増補改訂して刊行したものです。また、新たに労働組合による労働者供給活動や地方連合会の活動例を加え、地方労協の活動例も追加するなど、初版後の情勢の変化を反映した内容となっています。

お求めの際は全国の書店、もしくは出版元の明石書店までお問い合わせください。

連合新書19『〈増補改訂版〉共助と連帯  
－労働者自主福祉の意義と課題』  
高木郁朗監修、教育文化協会／中央労協編  
四六判344ページ、本体2,500円＋税



### Rengoアカデミー・マスターコース 講義録No.19『ジェンダーと労働』を刊行

教育文化協会は、2016年5月に、Rengoアカデミー・マスターコース講義録No.19『ジェンダーと労働』を刊行しました。

この講義録は、2015年11月18日のRengoアカデミー・第15回マスターコースで、神尾真知子日本大学法学部教授が講義した『ジェンダーと労働』を収録したものです。

本書は、第1部「フェミニズム運動とジェンダー」、第2部「女性差別撤廃条約と日本政府」、第3部「日本の女性労働と女性労働法制の現状と課題」の3部で構成され、主に歴史的・法的な観点からジェンダーと労働について講義しており、男女平等や労働法制の学習会などで活用することができます。

お求めの際は教育文化協会までお問い合わせください。

Rengoアカデミー・マスターコース講義録  
No.19『ジェンダーと労働』  
教育文化協会発行  
A4判76ページ、本体200円＋税



# 一定時総会・理事会を開催

教育文化協会は、2016年9月16日に連合会館において、第4回定時総会を開催しました。定時総会では、2015年度(2015年7月1日～2016年6月30日)事業報告・決算および2016年度の役員報酬総額、役員選任の4議案について提案され、いずれも提案通り承認されました。

これに先立ち、同年6月16日の第17回理事会において、2016年度(2016年7月1日～2017年6月30日)事業計画・収支予算他、全6議案が提案され、いずれも提案通り承認されました。

2016年度は、引き続き、本協会の事業目的の達成に向けた取り組みを通じて、労働運動を担う人材育成、労働教育に対するニーズに応えるべく、各事業の質的充実に努めて参ります。

※2015年度事業報告・決算報告および2016年度事業計画・収支予算は、ホームページに掲載しています。

## 公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事 (26名)

2016年10月7日時点

| 役職名  | 氏名    | 所属団体・役職(職業)  | 役職名 | 氏名    | 所属団体・役職(職業)              |
|------|-------|--------------|-----|-------|--------------------------|
| 理事長  | 南雲 弘行 | 教育文化協会 理事長   | 理事  | 岸本 薫  | 電力総連 会長                  |
| 副理事長 | 逢見 直人 | 連合 事務局長      | 理事  | 平川 純二 | JEC連合 会長                 |
| 専務理事 | 木村 裕士 | 連合 副事務局長     | 理事  | 難波 淳介 | 運輸労連 委員長                 |
| 常任理事 | 村杉 直美 | 教育文化協会 常任理事  | 理事  | 田野辺耕一 | 私鉄総連 委員長                 |
| 理事   | 八野 正一 | UAゼンセン 副会長   | 理事  | 松谷 和重 | フード連合 会長                 |
| 理事   | 田中 浩二 | 自治労 総合企画総務局長 | 理事  | 山口 浩一 | 交通労連 委員長                 |
| 理事   | 郡司 典好 | 自動車総連 事務局長   | 理事  | 立川 博行 | 海員組合 政策局長                |
| 理事   | 神保 政史 | 電機連合 書記長     | 理事  | 安藤 栄二 | 労金協会 常務理事                |
| 理事   | 川野 英樹 | JAM 副書記長     | 理事  | 阿部田克美 | 全労済 常務執行役員               |
| 理事   | 清水 秀行 | 日教組 書記長      | 理事  | 菅家 功  | 連合総研 専務理事                |
| 理事   | 操谷 孝一 | 基幹労連 副委員長    | 理事  | 塩田 正行 | 国際労働財団 事務長               |
| 理事   | 小俣 利通 | JP労組 委員長     | 理事  | 中村 圭介 | 法政大学院連帯社会<br>インスティテュート教授 |
| 理事   | 柴田 謙司 | 情報労連 書記長     | 理事  | 廣瀬真理子 | 東海大学 教授                  |

監事 (2名)

| 役職名 | 氏名    | 所属団体・役職(職業) | 役職名 | 氏名    | 所属団体・役職(職業) |
|-----|-------|-------------|-----|-------|-------------|
| 監事  | 大北 隆典 | 生保労連 委員長    | 監事  | 岩田 一喜 | 公認会計士・税理士   |

顧問 (4名)

| 役職名 | 氏名    | 協会経歴   | 役職名 | 氏名    | 協会経歴           |
|-----|-------|--------|-----|-------|----------------|
| 顧問  | 西村 寿紀 | 元 専務理事 | 顧問  | 高木 剛  | 前 Rengoアカデミー校長 |
| 顧問  | 須藤 安三 | 元 副理事長 | 顧問  | 岡部 謙治 | 前 理事長          |

第4回定時総会にて次の役員が退任しました。

(前) 理事 野中 孝泰 (電機連合 委員長) (前) 理事 永芳 栄始 (JEC連合 前会長)

(前) 監事 浜田 一郎 (生保労連 前委員長)

臨時総会 (2016年7月8日付、同年10月7日付<sup>\*</sup>) にて次の役員が退任しました。

(前) 理事 岡本 泰良 (日教組 委員長) (前) 理事 藤井 一也 (私鉄総連 前委員長)<sup>\*\*</sup>

(前) 監事 寺田 弘 (連合 前総合総務財政局長)

在任中ひとかたならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。

会員の事情等により、次の団体正会員が教育文化協会を退会しました。

全日本造船機械労働組合 (全造船機械) 2016年9月10日付

公益財団法人地方自治総合研究所 (自治総研) 2016年9月30日付

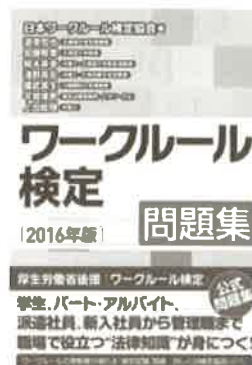
# 「ワークルール検定2016・秋」のご案内

ワークルールに関する知識を身につけたいという社会的なニーズの高まりを受け、労働に関わる一般的な知識について検定を行う「ワークルール検定」が2013年から実施されています。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、一般社団法人日本ワークルール検定協会が実施する本検定の展開・拡大に取り組んでいます。

2016年11月23日(水・勤労感謝の日)に実施される初級検定の受検申込を、同年10月25日(火)まで受け付けます(実施会場は表のとおり)。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

(URL)<http://workrule-kentei.jp/>



| 都道府県 |     | 会場                                   | 所在地                           | 定員   |
|------|-----|--------------------------------------|-------------------------------|------|
| 北海道  | 札幌  | かでの2・7 802研修室                        | 札幌市中央区北2条西7丁目                 | 90名  |
|      | 釧路  | 釧路市生涯学習センター(まなぼっと 幣舞) 7階学習室705・706号室 | 釧路市幣舞町4番28号                   | 40名  |
|      | 岩手  | ホテルニューカーリーナ「アイリス」                    | 盛岡市菜園2丁目3-7                   | 120名 |
|      | 千葉  | 千葉県教育会館 本館303会議室                     | 千葉市中央区中央4-13-10               | 100名 |
|      | 東京  | 連合会館 2階大会議室                          | 千代田区神田駿河台3-2-11               | 200名 |
|      | 岐阜  | ワークプラザ岐阜 5F大ホール                      | 岐阜市鶴舞町2-6-7                   | 100名 |
|      | 福井  | ユニオンプラザ福井 3Fホール                      | 福井市問屋町1丁目35番地                 | 100名 |
|      | 京都  | キャンパスプラザ京都 第2講義室                     | 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939       | 150名 |
|      | 広島  | ワークピア広島 2F「桜」                        | 広島市南区金屋町1-17                  | 80名  |
|      | 高知  | 高知市中央公民館 11F大講義室                     | 高知市九反田2-1<br>高知市文化プラザ「かるぼーと」内 | 112名 |
|      | 大分  | 全労済ソレイユ 7F「カトレア」                     | 大分市中央町4丁目2番5号                 | 190名 |
|      | 和歌山 | 和歌山県勤労福祉会館(プラザホープ) 4F                | 和歌山市北出島1-5-47                 | 100名 |

## 事務局より 退任・着任者からのご挨拶

□2年間、大変お世話になりました。アカデミーや同志社大学寄付講座などでは、多くの方に支えられ、なんとかここまで来ることができました。ILECでは、これまで交流がなかった方々とお話することができたなど、出身組織とはまた違った経験ができ、楽しく、かつ貴重な時間を過ごすことができました。やりきれなかったことなども多くあり、心残りなこともあります。生保労連に戻っても、陰ながらILECの活動のお手伝いができたらと思います。ありがとうございました。

(新井康弘ディレクター…生保労連へ復帰)

□生保労連からの派遣で、9月1日付で着任いたしました。2年前にRengoアカデミー・マスターコースを受講させていただき、講師の皆さんや他産業の受講生と議論を深めたことは、私にとってかけがえのない財産になっています。これから、ILECの事務局として、産業を超えてより多くの人達と一緒に仕事ができることをとても楽しみにしています。皆さんのご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

(近藤洋平ディレクター…生保労連より派遣)

## 編集後記

春先に着ていたはずの洋服が心なしか窮屈に感じられ、「よし、身体を動かそう」と決意を新たにしました。今年も衣替えから「スポーツの秋」が始まりそうです。(こん太)